

情報公開内容

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

新型コロナウイルス感染流行防止のため、救急搬送数は全体で 15%減少となり、救急搬送についても、新型コロナウイルス感染の影響をうけていた。救急搬送された、症例ごとの年齢や性別、居住地域などの基本属性と複数年の緊急搬送件数及び疾患を分析し、今後、災害時の対策や「本来救急車を必要としない症例」等の対策を講じるための基礎情報を把握する。搬送情報から疾病分類、傷病名、傷病程度、緊急度、消防機関名称（地域把握のため）、発生場所、年齢、発生日時の情報の解析を行う。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

高知県救急医療・広域災害情報システムである、こうち医療ネット内に構築されている搬送情報（疾病分類、傷病名、傷病程度、緊急度、消防機関名称（地域把握のため）、発生場所、年齢、発生日時）

450000 件（年間約 45000×10 年）

2015 年 10 月から 2025 年 9 月 予定

③ 利用する者の範囲

高知大学医学部 災害・救急医療学

高知大学医学部 環境医学教室

上記に所属の教員及び、先端医療学推進コースの学部生・社会医学演習医学部 4 年生（データ解析含む）

学部生のデータの利用については、定められた PC を使い、教員の監督の元データ解析を行う

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

危機管理医療学講座 教授 西山謹吾